

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 すばらうとこども発達サポート

公表日 令和 7 年 3 月 24 日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12		・利用人数やこどもの課題を考慮し、研修室を活用する等スペースの工夫をしている。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12			・適切な人数で支援しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1	・視覚的にも分かりやすい絵やカードを用いたり、医療機器があっても安全に過ごせるよう環境を整えている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1	・玩具などたくさん置かれているため危険を感じる場合があるが、職員配置が十分なので回避できるように感じる。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12		・プログラムやこどもの特性に応じて適切な部屋を選択している。 ・個室はないが空間を区切って仕切りをしたり、工夫して環境を作っている。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	11			・一部の職員での参加になっているため、日程の工夫をしていきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12			・評価を職員に伝え、改善に繋げていくようにします。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12			・評価を職員に伝え、改善に繋げていきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	6		・民間事業所で外部評価は任意であるため行わなくてもいいが、より質の高いサービスを提供を考えるなら行うと良いと思います。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12		・法人内の研修はもちろん参加出来る時は進んで参加する。外部研修も職員に提示して参加を募っている。	
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		・リハビリスタッフにより本人の様子を観察しながら、プログラムを実行している。公表もHPでしている。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12		・1年ごとのアセスメントし直し、支援計画を制作している。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12			・計画の作成には、各専門職の意見を聞き、活用しています。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12			・利用者のその日の体調や状態により異なるため、変わることもあります。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	1		・アセスメントについては、1年毎に見直ししたり話し合っ共有しています。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		・多職種からの視点で活動を検討することができている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	2	・毎日活動前にミーティングをし、プログラム内容を検討している。	・様々な外部の活動等の見学や参加から、プログラム内容、引き出しを増やしていきたいと思います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	1	・個々に合わせた活動内容を計画し、支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12			・活動内容はその日に必ず、確認したり話し合ったりしています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12		・支援終了時に全スタッフでミーティングを行い、振り返りや次回の課題などを話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12			・支援内容の記録は内容を精査し反省・改善するようにしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12		・定期的にモニタリングや支援計画の見直しをしている。	・アセスメント表の活用も取り入れていきたい。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11			・管理者や専門職が参加するようにしています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12			・保健所からの災害時個別支援計画作製に一部参加したり、他事業所との連携に努めている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12			・今後必要があれば連携をしていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	1		・情報が必要な場合は連携をしていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	1		・未だその機会はありませんが、必要に応じてやっていきたいと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	6	・一部では地域の子育て支援センターにスタッフと一緒に訪れ、地域のこどもと接する機会がある。	・まだ一部でしか実施していないため、必要に応じて地域との交流の機会を増やしていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			・利用時にはこどもの様子を聞きながら、保護者との今日隣り理解をはかっています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1		・家族へのアドバイスが必要な家庭には、ペアレントトレーニングを進めることがあります。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	11				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11			・定期的にモニタリングを行い、面談や相談を受ける時間を設けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	5			・保護者同士で交流する機会がないので、今後展開していけたらいいと思う。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	1			・定期的に活動の様子を送っています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11				・個人情報守秘義務については十分配慮し写真等については、保護者の了解を得て実施する。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	3			・法人として行っている行事がある。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11				
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11				・毎月避難訓練を実施し、参加スタッフやこどもたち、訓練内容が固定化されないように配慮している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11				
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11				
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11				・ヒヤリハット報告書を作成し、スタッフ間で共有と対策について検討している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11				・毎年施設内研修を受講し、外部研修で得た知識もスタッフで共有している。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11				・身体拘束についての十分な説明と同意を得て、やむを得ない場合に必要最低限の拘束をしている。	